

平成 27 年 5 月 19 日
株式会社日本政策金融公庫

海外展開関連制度の利用社数が過去最高

～「海外展開資金」は年間 1,100 社、スタンバイ・クレジットは累計 120 社を突破～

1. 海外展開資金実績について

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)の平成 26 年度における「海外展開資金」の融資実績は、**1,116 社(前年度比 123%)、239 億円(同 86%)と社数で過去最高**となりました(図1)。

業種別では、卸・小売業(505 社:構成比 45%、前年度比 139%)、製造業(421 社:構成比 38%、前年度比 104%)が多く、**特に卸・小売業で海外展開する企業が大幅に増加**しています。

増加の背景としては、国内需要の伸び悩みに対応するため、世界無形文化遺産に登録された日本食や、漆器、盆栽、錦鯉など日本の伝統産業、いわゆるクールジャパン関連企業など、積極的に輸出に取り組む中小企業及び小規模事業者が増加していることがうかがえます。

海外展開先については、**依然として中国や ASEAN 諸国を中心としたアジアに進出する企業が多く、8 割近くを占めています**。アジア以外では、北米、ヨーロッパ等の先進国や中東、アフリカへ海外展開する企業が大きく増加するなど、進出先が多様化してきていることが特徴としてあげられます(図2)。

図1 融資実績の推移

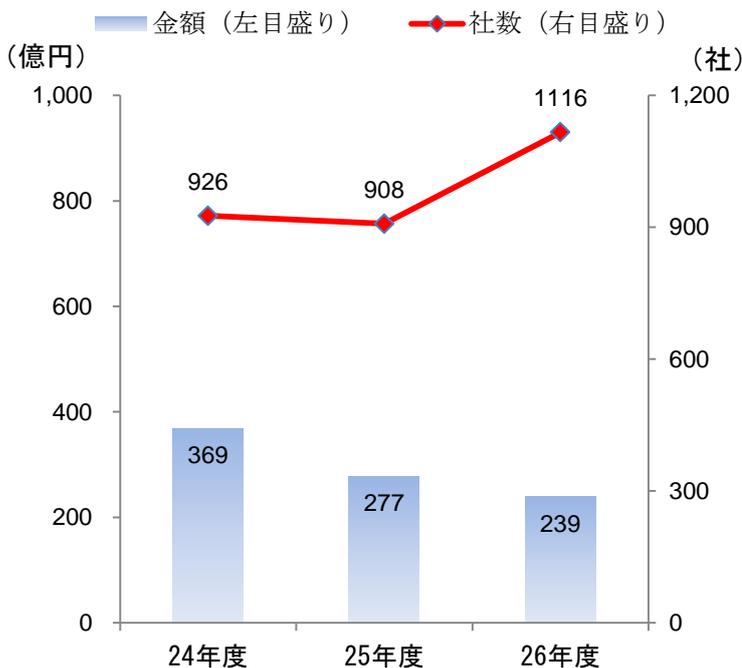


図2 海外展開資金実績(投資国別)

(単位:社、%)

	26 年度		
	構成比	前年度比	
アジア	866	77.6	112.5
中国	300	26.9	121.0
ASEAN 諸国	384	34.4	100.0
その他アジア	182	16.3	131.9
北 米	88	7.9	183.3
ヨーロッパ	82	7.3	186.4
中 東	28	2.5	186.7
アフリカ	24	2.2	171.4
そ の 他	28	2.5	164.7
全 体	1,116	100.0	122.9

2. スタンドバイ・クレジット制度の実績について

日本公庫では、平成24年8月からスタンドバイ・クレジット制度の取扱いを開始し、中小企業（海外現地法人等）の円滑な資金調達を支援しています（図3）。

平成26年度は、ベトナム、マレーシア、シンガポールでそれぞれ第1号の信用状を発行し、全体で76社（前年度比217%）の実績となりました（図4）。また、**制度開始以降の累計実績は延べ122社**となっています。

平成27年1月には、アジア以外で初めてメキシコの金融機関とも提携し、現在8つの金融機関^{（注）}と提携しています。また、国内の地域金融機関との連携スキームにつきましても、全国53の地域金融機関と連携しており、平成26年度末までの本スキームによる信用状発行実績（累計）は、延べ7社となりました。

（注）バンコック銀行（タイ）、KB国民銀行（大韓民国）、メトロポリタン銀行（フィリピン）、バンクネガラインドネシア（インドネシア）、ベト・イン・バンク（ベトナム）、CIMB銀行（マレーシア）、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行（シンガポール）、パノルテ銀行（メキシコ）

図3 「スタンドバイ・クレジット制度」の仕組み

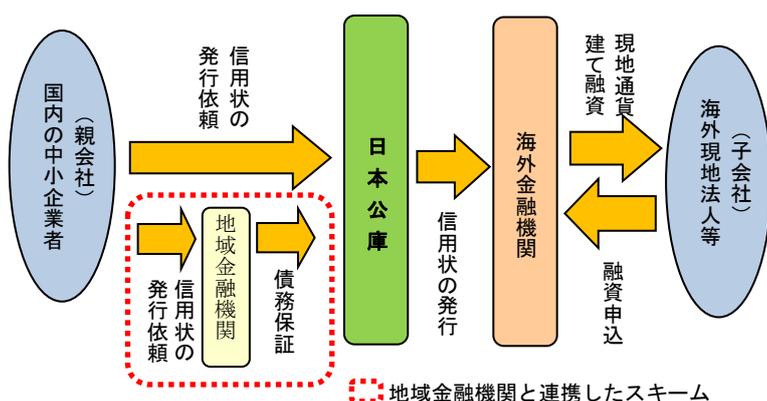
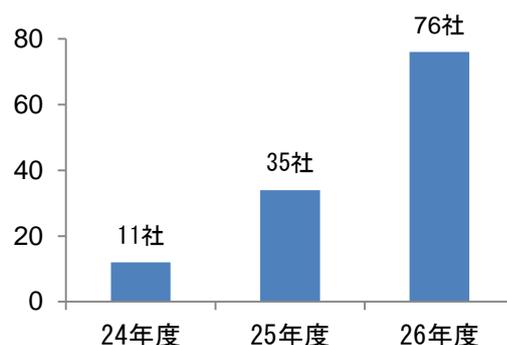


図4 信用状発行実績の推移



3. 外貨貸付の取扱い開始について

日本公庫では、平成27年4月から、海外展開や海外展開事業の再編に取り組む国内中小企業者に対して、**外貨（米ドル）で融資する制度の取扱いを開始**しました。米ドルでの資金ニーズがあるにもかかわらず、日本円で調達してきた中小企業者は、この制度により日本公庫から**直接外貨（米ドル）で調達**できるようになります。

【本制度のメリット】

- ①外貨（米ドル）を直接借入でき、為替リスクを低減できます。
- ②融資期間は設備資金15年以内、運転資金7年以内で、長期の安定資金として利用できます。
- ③資金繰りの安定化を図るため、期限一括償還（5年以内）による返済も可能です。
- ④固定金利のため借入当初に返済金額が確定され、返済計画が立てやすくなります。

今後も日本公庫は政策金融機関として、中小企業及び小規模事業者の皆さまの海外展開を積極的にサポートしていきます。